

4
あのだけしの賢兄が都立大の講師に
OECDでよく目置く化学のプロ

あのビートたけしの兄、北野大さん(左)が、十月から母校の都立大工学部で非常勤講師として教壇に立つことになった。

もともと北野さんは、ウィークデーこそ財団法人化学製品検査協会の化学製品安全センター管理部長として宮仕えの身だが、土、日は華やかな姿身をみせる。

「クイズスタービー」「関口宏のサンデーモーニング」(いずれもTBS系)の二つのレギュラー番組を持ち、泊まり込みで収録する売れっ子。それに加えての講師就任に、

「いまだって、日曜日の午後しか自分の時間が取れないくらいですからねえ。大変ですよ」と、いちおうは嘆息節だが、目は笑っている。バイタリティーでは、弟にひけを取らないと評判なのだ。



たけし、より知的に穏やかにした北野大さん

講義は週一回の「工業化学持論」。化学品の毒性の検査の方法や、法的問題を教えるそうで、「彼はOECD(経済協力開発機構)国際委員会の小委員会のメンバーでもあり、その分野じゃ、日本の草分けなんです」と、並のタレント講師との違いを強調するのは、今回の招聘の旨。化学品の毒性の検査の方法や、法的問題を教えるそうで、

「都立大学は素晴らしい教授も多いのに、印象が地味。だから私みたいな人間がお役にたてるかも」と、この弟にしてこの兄の感もある。もともと都立大学側は、

「私が北野さんを推薦しても、彼がたけし君の兄で「クイズスタービー」の解答者をやっていることを知っている人は、ほとんどいませんでした」(保母教授)というから、純粋に実力だけで

だが、北野さんが化学のスペシャリストとして今日あるのも、あの賢兄おっかさんの強引な進路指導の賜物だという。

ほんとは英語の教師になりたかった北野さんは、母に黙って千葉大英文科を受験し、合格した。工学部行きを希望していた母親に千葉大の合格通知を突きつけて逃げ切る作戦だったが、信子の母の怒るまいことか。

「英語なんて、アメリカじゃ食でもしやべってるんだ! 工学部に行って手に職をつける!」

「母様におとなしく従って、こうなったのが私。反発をバネにして大きくなったのが、たけしです。たけしほどエネルギーが豊富な私に、母のいうとおりにしてきたのは正解だったんでしょ!」

ところが、大さんも都立大の院生時代には「寮室部長」と異名を取ったひょうきん者である。少年のころには芸能界にほのかなあこがれも抱いていたそうだから、素質は十分にあっただらう。講師就任の抱負は? という問いにも、